

平成29年度第1回山元町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成29年5月24日（水） 午後2時00分から午後3時25分
- 2 開催場所 山元町勤労青少年ホーム 1階 講義室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 概要 以下のとおり
 - (1) 開催
 - (2) 開会の挨拶
 - (3) 議題
 - ①「教育等の振興に関する施策の大綱（案）」について（説明者：佐藤学務課長）
 - ②山元町内小・中学校の再編について（説明者：佐藤学務課長）
 - ③生涯学習関係施設等の今後の取り組みについて（説明者：佐山生涯学習課長）
 - (4) その他
 - (5) 閉会

1 開催にあたり【司会：佐藤学務課長】

ただいまから、平成29年度 第1回山元町総合教育会議を開会いたします。
開会にあたりまして、山元町長 齋藤 俊夫よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ【山元町長：齋藤俊夫】

教育委員の皆様、本日は、平成29年度第1回山元町総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。

この制度がスタートして、今年で3年目となりますが、委員の皆様には、日頃から、未来を担う、山元の子どもたちや、町民のだれもが、将来へ向けた夢と志を育む教育政策の実現に向け、日々、ご尽力いただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

また、震災から7年目を向かえ、復旧復興の各種事業も着実に進み、昨年度は新市街地の町開きや、JR常磐線の運転再開、学校関係では山下第二小学校の移転復旧も完了するなど、新生やまもとの実現に向け、一步一步、確かに歩みを進めております。

さて、最近は連日のように、児童・生徒が関係する「いじめや自殺」などが報道されており、教育行政への社会の眼は大変厳しく、今後も今以上に関心が高まっていくものと感じております。

首長と教育委員会が連携を強化し、教育行政の基盤を再確認した上で、今後の町の原動力となる健全な青少年の人材育成はもちろんのこと、活躍の場の提供等も含め、

枠にとらわれない柔軟な対応を行わなければならないと考えております。

本日の議題は「教育等の振興に関する施策の大綱」、及び小中学校教育環境整備方針でも示されている「小中学校の再編」、また、震災により対応が遅れてきた「生涯学習関係施設の今後の取り組み」など、議論を交わしたいと思いますので、委員の皆様のご意見をお聞きいただき、活発な会議になるようよろしくお願いいたします。

－以下議事－

3 議 題

【司会】

それでは、次第に基づきまして、議題に入らせていただきますが、議題の進行につきましては、山元町総合教育会議運営要綱第4条の規定に基づき、齋藤町長が議長となり、進行させていただきます、よろしくお願いいたします。

【議長】（齋藤町長）

はい、それでは、議長をお預かりしましたので、進行させていただきます。

議題（1）「教育等の振興に関する施策の大綱」について事務局からご説明をお願いします。

【事務局】（佐藤学務課長）

はい、それでは、「教育等の振興に関する施策の大綱（案）」について説明します。お配りしております資料別紙1をご覧ください。

今年度、第1回目の総合教育会議となりますので、平成29年度の大綱についてご審議いただきたいと思います。

今回提案しております大綱案については、今年3月に策定しました「山元町教育振興計画」との整合を図り見直しを行っております。

はじめに、表紙の部分についてはこれまでと同様ですが、裏面をご覧ください。

前文部分であります。これまでの文章の中に、本町で生まれ、育ち、その後、社会人として本町を離れていく方も多くありますので、本町に残り、又は、将来戻ってくるなど、そのような期待を込め、「町に愛着と誇りをもって」の文言を追加しております。

また、以下の目標の4項目については、これまでの内容とほぼ同様ではありますが、3月に策定した「教育振興基本計画」の「計画の目標」である4項目に置き換え、7つの基本方向と10個の重点事項を各目標の取り組む施策として見直しをかけ、今年度の大綱案としてまとめております。

以上、説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【議長】（齋藤町長）

事務局から説明がありましたが、今回の大綱は「教育振興基本計画」との整合を図り見直しを行い、提示がありましたが、ご質問、確認事項等ありましたら、ご発言をお願いします。

【議長】（齋藤町長）

特にありませんでしょうか。

「町に愛着と誇りをもって」とい文言を追加したとのことですが、私としても、地元に残る、地元に戻ってくる思いを少しでも意識してもらえればと考えておりました。

【議長】（齋藤町長）

ないようですので、(1)「大綱」について、原案どおり改定することよろしいでしょうか。

(はいの声あり)

【議長】（齋藤町長）

それでは、(1)「大綱」については、原案どおり改定することに決定します。

次に(2)山元町小中学校の再編についてを議題といたします。事務局から説明願います。

【事務局】（佐藤学務課長）

はい、それでは、資料2をご覧ください。

小中学校再編に向けての、現状や課題、今後の検討の進め方などについて説明をさせていただきます。

はじめに、1の「再編検討が必要な現状について」ですが、別紙参考資料「児童生徒数の推移」も併せてご覧ください。

震災前の平成22年度には小中併せて1,148人でありましたが、平成29年度は742人、平成34年度には632人と年々減少傾向となっております。特に小学校では平成31年の山下第一小学校の入学児童が3人となっており、文部科学省の学級編制の基準からいきますと、平成32年度以降複式学級が懸念されるところであります。

次に資料2枚目をご覧ください。坂元中学校と山下中学校の部活動の状況です。

中学校についてですが、坂元中では教職員の定数が9教科配置に至らず、非常勤講師で対応や、表にありますように生徒数の減少に伴い部活動が制限され、また、他校との合同チームでの大会参加が強いられる状況となっております。

山下中学校におきましても、坂元中ほどではありませんが、一部廃部や部員数の減少で大会出場が危惧されている部もあると聞いております。

参考資料の3枚目、4枚目は、小学校、中学校のクラス数、及び児童生徒数を昭和47年からグラフに表したものです。

次に、5枚目「山元町公共施設等総合管理計画抜粋版」をご覧ください。

この計画は、町が保有する各公共施設ごとに調査分析し、今後の維持管理や再配置・統廃合を行うための計画となります。

左側、中段の円グラフは、公共施設の延べ床面積の内訳であります。水色が学校教育関係施設で、全体の35.2%を占めています。

下段は各施設の建築年度毎の棒グラフとなります。

裏面をご覧ください。

町民一人当たり公共施設の延べ床面積となりますが、表の下段、右側になりますが、町民一人当たり8.51平方メートルとなり、全国平均の3.42や3.22平方メートルを大きく上回った数字となっており、学校や公営住宅などの占める割合が高くなっております。

また、右の表「類似団体との比較」ですが、このデータは平成26年の数値であるため数値が5.8平方メートルと違いますが、震災に伴い公営住宅などの建設により大きく数字が伸びております。

資料2にお戻りください。

2の「平成25年の環境整備方針」の基本方針③の抜粋となります。

方針では、「長期的な視野から、小学校2学校区、中学校は1学校区とする」とされており、それぞれの再編の時期や課題等が記載されております。

次のページをご覧ください。

3公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きとして、文部科学省通知の抜粋となります。

背景には、少子化に対応した学校規模の適正化が全国的に大きな問題となっていることから、1つの目安、参考資料として出されたものです。

学校規模としてはクラス替えや学級数、学校の適正配置では、通学距離や時間となっておりますが、(4)の基本的な考え方として、1点目は「教育的な観点」、2点目として、「地域コミュニティの核としての性格への配慮」など、広い視点での検討が求められております。

3ページになりますが、このようなことを踏まえ「再編にあたっての基本姿勢」としては、「児童生徒にとって、よりよい学び(学校生活)ができる環境をつくる」という観点を第一義に考える必要があると考えますので、保護者や同窓会、また地域住民の方々と意見を十分に踏まえ検討を進める必要があると考えております。

3今後の検討の進め方となりますが、従前の「整備方針」策定時同様。検討委員会などの組織を立ち上げ検討・協議を行い、最終的に教育委員会として決定したいと考えております。

2の具体的な進め方としては、(1)は教育委員会でアンケート調査などの基礎調査を行い、検討委員会で方向性について協議を行う流れ、(2)としては、先に検討

委員会を組織し、その後に、アンケート調査などについても検討を行う流れなどの、2通りが考えられます。

最後になります。仮に再編に至った場合のスケジュールとなりますが、今説明いたしました検討期間など方向性を決定するまでに1年、その後、再編に向けた学校の閉校や開校準備などに約2年くらいの期間を要するのではないかと考えております。

以上、小中学校の再編についての現時点での現状や考え方などについて説明いたしました。

【議長】（齋藤町長）

事務局から説明がありましたが、この学校の再編については、小中学校ともに児童生徒数の減少により弊害が発生しておりますので、慎重な中にも早急に方向性を示し、対応しなければならない課題と考えております。

今日は、委員の皆さんの率直なご意見を伺い、今後、対応して参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

【議長】（齋藤町長）

この問題は、慎重に早急に取り組む必要があると思います。

補足ですが、1人あたりの公共施設の延べ床面積を押し上げているのは、学校と公営住宅がありますが、復興住宅で押し上げている部分もあります。山元町の規模からも震災前から町営住宅の戸数が多く、震災により再建か住宅かの選択の際、高齢化率からもやむを得ないと考えております。

最近、町連Pの総会などで、中学校を統合との声も聞こえており、おかげさまで復旧、復興も進んできたことから、生涯学習施設も含め、力を入れて取り組んでいければと考えております。

【教育委員】（齋藤委員）

山下第一小学校の問題に関心を持っています。複式学級になるのは目に見えているため、他の学校と一緒にしても良いかとも思うが、地域の声なども聞く必要があると思います。

【教育委員】（荻原委員）

保護者としては、中学校の統合を希望していました。子どもが中学生になる時、部活の関係で山下中に行かせるか悩んだのを覚えています。今回、再編の検討の話がでてよかったと思っています。

【議長】（齋藤町長）

小学校と中学校では置かれた状況が違うかと思えます。同時並行が理想ではありますが、分けて考える必要もあると考えます。

ます、急ぐべきは中学校ではないでしょうか。

【教育委員】（齋藤委員）

学校を1つに統合して、スクールバスで通学をという声も保護者から聞こえてきております。

【教育委員】（島田委員）

小学校については、やはり1つに統合するのは難しいのではないのでしょうか。

【教育委員】（荻原委員）

小学校は少人数でもよいのではないかと考えております。

【教育長】（菊池教育長）

スクールバスは統廃合している町村で実施しているが、統廃合の方針が決まった後の話しになると思います。

スクールバス運行の弊害としては、やり始めたら子どもの体力が落ちたということを県北の校長から聞いたことがあります。

【議長】（齋藤町長）

学校再編については、平成25年の方針を見直す必要もあるのではないのでしょうか。

【教育長】（菊池教育長）

方針として一度示しているので、この会議で提出したデータを提示しながらご意見を伺いたいと思います。

小・中学校の現状を踏まえると、再編検討に着手する時期には来ていると思います。

【議長】（齋藤町長）

事務局としては、この方向でよろしいのでしょうか。

【事務局】（佐藤学務課長）

はい。

【議長】（齋藤町長）

ほかにご意見等ありましたらお願いします。

（なしの声あり）

【議長】（齋藤町長）

ないようですので、貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、最後の議題となりますが、(3) 生涯学習関係施設等の今後の取り組みについて、事務局から説明願います。

【事務局】(佐山生涯学習課長)

はい、それでは、資料3-1をご覧ください。

「坂元地域交流センター整備に伴う坂元支所及び坂元公民館のあり方等と関係条例等について」ですが、8月1日から山元町防災拠点・坂元地域交流センターの供用が開始されることに伴いまして、これまでとどの様になるのかということをもとめた表となります。まず、建物については、「坂元合同庁舎」から「山元町防災拠点・坂元地域交流センター」に、位置は「坂元字館下113番地」から「坂元字町東1番地60」になります。この場所については、坂元の新市街地の中ということになります。

窓口の職員体制については、現在の「町職員3名」から「町職員3名と臨時職員1名の4名体制」とします。これは、後ほど説明いたしますが、新たな機能、サービスを持たせるということから、臨時職員を増員するものです。

その機能、サービスについては、現在の「支所機能、公民館機能」から「支所機能。公民館機能に加え防災・交流機能」として、防災機能とは、ソフト対策として、防災研修、ハード対策として、避難施設機能、備蓄機能、自家発電機能があげられます。

交流機能は、交流活動や情報発信、人材育成などがあげられます。

次に、資料3-2をご覧ください。

「生涯学習課関係施設等の今後の取り組みスケジュール案」については、中浜小学校震災遺構は、平成31年度、茶室の補修、整備については平成32年度中、町民グラウンド復旧・体育文化センター整備は平成31年度中、少年の森拡充は平成32年度、東部地区スポーツゾーンは平成31年度、パークゴルフ場は平成33年度、サーフインは平成30年度中をそれぞれ目途とし、整備等の取り組みを行っていく予定としております。

説明は以上となります。

【議長】(齋藤町長)

ただいま、事務局から説明がありましたが、1点目が坂元地域交流センター整備に伴う支所と公民館の体制・機能について、2点目が各施設の整備計画であります。限られた職員の中での整備となりますので、年次計画で整備を進めていく予定であります。

なお、個々の具体計画については、今後定例会などにおいて説明して参りますので、委員の皆様のご理解をよろしくお願いしたいと思います。

何か、ご意見・確認などあればお願いいたします。

【教育委員】(島田委員)

茶室の整備については、当時の雰囲気を感じられるようトータルコーディネートをしてほしいと思います。

【事務局】（佐山生涯学習課長）

建物のみでなく、周辺も含めた全体としての整備を進めたいと考えております。

【議長】（齋藤町長）

他にご意見等ありましたらお願いします。

（なしの声あり）

【議長】（齋藤町長）

ないようですので、本日予定しておりました議題については以上となりますが、その他何かありましたらお願いします。

（なしの声あり）

【議長】（齋藤町長）

本日は、非常に貴重なご意見や情報交換ができ、大変ありがとうございました。以上となりますので、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

【事務局】（佐藤学務課長）

はい。ありがとうございました。

以上をもちまして平成29年度第1回総合教育会議を閉会といたします。

大変ご苦勞様でした。